

組織目標管理シート

年度	令和6年度	(参考) 関連する総合計画に おける政策指標		作成日	R6.4.1
組織名(部)	組織名 (準部・課・機関名)	選挙管理委員会事務局		評価日	R7.3.31

○:達成
△:一部未達成
×:未達成

No.	組織目標	指標			主な取組(事業)		評価	目標達成状況	今後の方針	
		総合計画(実施計画)上の位置づけ	取組指標	R6目標	R6結果	取組名称(事業名)				概要
1	適正な選挙事務の執行を確保するため、法令の遵守や制度の正しい理解を徹底し、内部統制制度による事務ミスや不正の発生防止に努めます。	行財1-1-①	内部統制制度の報告件数	0件	0件	・選挙のマニュアル等の充実や事務担当者向けの研修の実施	マニュアルの充実や研修を通じて、制度の周知を図るとともに、ミスの発生原因を共有する。	○	日程的に厳しい状況であったが、大きなミスもなく無事に執行できた。	今後も選挙の執行はあるため引き続き過去のミス事例の再発防止に努めていく。
2	相対的に投票率が低いとされる若年層を中心に、選挙に関心を持ってもらう事業を実施し、投票率の向上に努めます。		・若年層対象啓発事業数	・出前講座等の実施 2件 ・ポスターコンクールの実施	出前講座等の実施 7件 ポスターコンクールの実施	・若年層を対象とした出前講座や模擬選挙などの実施 ・小中高生を対象としたポスターコンクールの実施	・学校のことなどを決めるための手段として投票を実施し、選挙を身近なものに感じてもらう。 ・夏休みの課題としてポスターコンクールへの出品を通じて選挙への関心を高める。	○	出前講座は高校で2校、小学校が5校で実施。ポスターコンクールも予定通り実施。	引き続き学校での活動やポスターコンクールなどを通して若年層の選挙啓発に取り組み、投票率の向上を図る。
3	任意団体である明るい選挙推進協議会と連携し、地域において選挙に対する啓発活動を実施します。		・地域などでの啓発活動の開催件数	2件	2件	・地域の住民が参加するお祭りなどでの啓発活動の実施	老若男女問わず参加する地域のお祭りなどのイベントや商業施設などで啓発活動を行います。	○	地域の祭りや職場体験など多くの人の集客が見込まれるイベント等で啓発活動を4回実施した。	一般の方が多く集まるイベント等に出向き、多くの人に選挙の啓発を行う。
4	大学との連携を行い、若者目線で投票率の向上のための方策について検討・提言をもらい、施策に反映していく。		・地元大学との連携	政策提言の施策への反映可否の検討	提言を受け参議選への実施を検討	・地元大学との連携事業として若年層の投票率向上に向けた取り組みの検討を行ってもらう。	投票率が相対的に低い20代前半の投票率の向上のために何が必要かを当事者と同年代の大学・短大生から議論し、有効な施策の提言を受け、施策へ反映できないか検討する。	○	新潟青陵大学との連携事業の中で若者らしい視点からの提言を市議会議員と選挙管理委員会委員に対して行ってもらった。	引き続き若年層が政治に関心を持ってもらうような事業の実施を連携して進めていく。